

令和2年度 第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録

- 1 開催日 令和2年7月29日(水)
- 2 会場 越谷市役所本庁舎 5階 第1委員会室
- 3 開閉会 開会 午後2時00分
閉会 午後3時15分
- 4 出席委員 石崎 一宏 委員 澤田 一郎 委員 斉藤 耕平 委員
長谷川 幹人 委員 福島 茂樹 委員 遠藤 敏子 委員
渡邊 明子 委員 松沢 啓美 委員 初鹿 和子 委員
佐々木 京子 委員 若井 秀昭 委員 内田 泰代 委員
前川 佳也 委員 山下 とも代 委員 今井 陽子 委員
会田 容子 委員
- 5 欠席委員 瀧田 優 委員 會田 良光 委員 中山 有子 委員
青柳 公枝 委員
- 6 事務局出席者
学校教育部副参事兼給食課長 石川 智啓
学校教育部副参事兼指導課長 佐々木 清
教育センター所長 齋藤 紀義
学務課長 小野寺 秀明
学務課学事担当主幹 武内 英樹
学務課学事担当主事 土屋 明久
- 7 報告事項 小中一貫校設立に伴う蒲生地区、川柳・明正地区意見交換会の状況報告について
- 8 協議事項 蒲生地区及び川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定にかかる答申について

【令和2年度第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録要旨】

- 1 開 会
- 2 報告事項

小中学校学区審議会条例第5条第2項の規定により、会長が議長となり議事の進行を行う。

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 6月7月に計4回開催した小中一貫校設立に伴う意見交換会について説明する。
(質疑・意見)

委 員 具体的に何階建ての建物か知りたい。

事務局 蒲生学園について、中学校は北側に4階建、小学校は南側に5階建で構想している。
川柳学園は階数まで資料に掲載していない。本日は学校管理課長も不在のため蒲生学園の説明に留めさせていただく。

委 員 意見交換会で部活動についてどのような意見が出たのか知りたい。

事務局 蒲生学園の校庭の広さについては標準の決められた広さの確保は進めながらやっている。体育館は2つ建てる。部活動についてもある程度の数が準備できる形を学校と一緒に考えていきたい。現時点でどのような部活ができるのかお答えできる状況ではない。

委 員 意見交換会の参加者についてどのような方を選んでいるのか。

事務局 学校長、学校運営協議会代表、越谷市PTA連合会代表、PTA会長、保護者代表にご案内している。

委員 学校というのは地域の要。地域の方々のご意見を反映してはどうか。

事務局 追加ですが、地区自治会連合会長にもご案内している。また、蒲生・川柳・大相模の該当自治会長にも説明している。

委員 意見交換会に出席した者です。なぜ、意見交換会で配布された資料そのものが本日配布されていないのか。質問意見だけ報告されても、なぜこうなっているかわからない部分もあるのではないかと。

学区審議会の委員の皆様と共有したかったのは、当日配布されて説明されたものはちゃんとしたボリュームのものがあって、それに対して意見交換がきちんとなされるベースの資料があった上で、この質問と意見が出ましたというのを皆様にお伝えしたかった。

事務局 本日の資料がQ&Aなどが無く、意見交換会での意見だけをまとめた資料にしてしまい申し訳ありません。

委員 意見と質問が書かれていますがそれに対するアンサーは示されていますか。

事務局 越谷市で作成したQ&Aに加えて、1回目の意見交換会で頂いた意見・質問を反映して、2回目の意見交換会の際に配布しました。今後、様々な立場の方々からの意見を反映し完成版を作成する。

3 協議事項

議長 答申(案)を配布し、5分間、各自内容を確認。

委員に質疑・意見を求める。

答申は委員全員の賛成により原案のとおり決定。

(質疑・意見)

委員 答申(案)からはかけ離れているかもしれないが、今後の委員に先進地視察に行っていただくことはできないか。

事務局 越谷市内といっても土地勘とか見慣れないところもあるかと思うので、地図など分かりやすい提示の仕方を検討する。

委員 仕事の都合で欠席し、今回初めて出席したので、改めて諮問内容を教えていただきたい。次期の委員に継続して検討してもらうにあたり理解を深めさせていただきたい。

事務局 市内には小学校が30校、中学校が15校存在するが、今回の3学園構想に關しまして小学校の統合、中学校の新設が予定されており、結果的に小学校が29校、中学校が16校になる。その際にどのような通学区域を設定するべきか諮問させていただいた。

通常であれば、何丁目何番地からあちらの学校にというように番地で区切った学区の改編が一般的に行われているが、今回は学校の合併、新設という性質があるので、一般的に考えた中では学校ごとの改編とすべきではないかというところについて統一をいただいたところですが、まだ期間がしばらくあるので、このタイミングで答申という形ではなく継続審議ということで案を作っていたのかと理解しているところである。

委員 私は次期も担当するのだが、最初にどのようなことを優先的に検討しなければならないのか引き継いでほしい。タイムスケジュールでこれはいつまでにやってほしいとか申し送りをしてほしい。

事務局 蒲生地区に関しては蒲生小と蒲生第二小の合併に伴う学区改編、川柳地区に関しては市内16番目の中学校の立ち上げや光陽中学校の学区改編を行なうことが予定されている。しっかり明示し進めていく。

タイムスケジュールについては、令和4年の蒲生小、蒲生第二小の統合を目指しているので、蒲生については優先的に学区改編を進めていかなければならないと考えている。

事務局 皆様に3学園構想の情報を提示できるようになったのが令和2年3月。令和2年3月26日付でこちらから諮問をした。5月に審議していただき、本日7月29日が3回目の審議会、約4か月の期間での答申となった。本日の時点で十分に協議ができたご判断をされるのが難しいこともあって継続審議という選択ではないかと考えている。

なお、通学区域としては学校ごとが良いのではないかとということも含めてお話しいただいたことについて、次期委員に情報提供した上で、今期審議会を十分に生かした上で次期委員に審議していただく。

委員 3学園構想が地域の方に割と唐突に出てきた印象。なかなか周知されていないのではないかと。先ほど申し上げたように、小学校中学校は地域の要でもあり、地域の方への十分な説明の上で協力を得ながら是非進めて行ってほしい。

事務局 現在、意見交換会を進めながら自治会長まで説明が終了した。8月下旬から9月にかけて地域の方々へのご説明、ご提示という形で広く周知をさせていただく予定。

委員 6年間委員をやらせていただいた。以前、千間台小の児童数増加とレイクタウンの児童数増加と色々な問題があったが、レイクタウンのほうが急を要しているということでレイクタウンを優先した経緯がある。

中高一貫校というのはかなり多いが、小中一貫校というのは公的なところではあまり聞かない。越谷市全体に広げていけば千間台や大袋とか色々な問題もどこかで解決できそうな気がする。

継続審議の答申はとても良いと思っている。もっと市内の親御さんの中でもこの構想について当たり前に話ができるような形になっていかないといけない。新しいことをやるという越谷らしさの中でそういう形が出てきたということをもうちよっとPRしても良いのではないかと。

事務局 意見交換会の中でも、小中一貫校について、越谷市内他の学校でも今後予定はありますかという質問を寄せていただいている。今すぐにどこの学校というのは申し上げられないが、検討を進めていかなければならないと考えている。

地域の方への情報提供する内容について意見交換会や本日の会議の中でのご意見等も伺いながら、分かりやすい資料を作り上げまして、地域の方への説明に努めたい。

事務局 千間台小学校についても当然注視をさせていただいている。施設としてかなり厳しい状況になった際には令和8年まで全く審議ができないというわけではない。今後も千間台小の児童数は横ばいという状況ではあるが、引き続き大規模校であるので、施設の老朽化等も含めて学区の改編等必要性に応じて審議していただければと考えている。

以上